

ワッフル

Waffle

vol.274
2025. 4
since 2002



KM13N2
2ハンドル混合栓
¥16,170（税込）



T・Kの

いっすな〜、ごっつお(ごちそう)



セロリの回鍋肉



材料（2人分）

・豚バラ焼き肉用	200g
・セロリ	1/2本
・にんにくの芽	10本くらい
・ねぎ	1/2本
・にんにく	1かけ

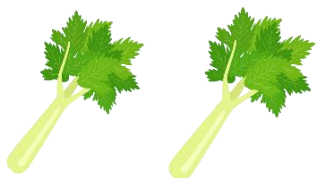
（調味料）

・醤油	大さじ1/2
・砂糖	小さじ1/2
・みりん	小さじ1/2
・テンメンジャン	大さじ1
・紹興酒	小さじ2
・トウバンジャン	小さじ1
・トウチージャン	小さじ1

・サラダ油	適量
-------	----

作り方

- ① セロリは3mmくらいの幅に斜め切りにします。
にんにくの芽は3cm長さに切り、ねぎは斜めに切ります。にんにくは薄切りにします。
- ② 砂糖、みりん、醤油、テンメンジャン、紹興酒を合わせておきます。（テンメンジャンがなければ赤みそと砂糖で代用可能）
- ③ フライパンにサラダ油を少量熱し、豚バラ肉を中火で香ばしく焼き、取り出しておきます。
（少量の油で豚肉の脂を出すように焼きます）
- ④ フライパンに残った脂でセロリ、にんにくの芽を強火で炒め、さらにねぎも加えて炒めます。
（豚肉から出たうま味たっぷりの脂で野菜を炒めます）
- ⑤ 弱火にして、具を端に寄せて油を適量足し、トウバンジャン、トウチージャン、にんにくを炒めます。
- ⑥ ②の合わせておいた調味料を加えて強火で炒め、③の豚肉を戻し入れて全体をからめて仕上げます。
（合わせ調味料は強火で火を入れることでより香りが立ちます）



はしくれの男 2

日はあかるく照っているが、風が冷たい。

孝一はオーバーのポケットに手を突っ込んだまま立っていた。

目は一棟の荒れたバラック工場に向けられていた。ガラスもみんなこわれていて、建物そのものも傾きかけていた。

「あれだよ、あの建物だ」

と新一は指さして孝一に言った。

枯れた雑草が一面におおい、葉を落とした雑木林が後ろにあった。赤い崖が遠くに切り立っていて、ちょっと洋画の画材にもなりそうな寂寥（せきりょ）うたる風景であった。

「あれが佐藤義人所有の缶詰工場だ。ま、中を覗いてみよう」

孝一はくろずんだ建物に近づいていって、破れ窓から中を覗いた。器材の部品だの、小さな缶がたくさん転がっていた。床一面に雑多なくずが、ほこりと一緒に散乱していた。休業中の工場ではなく、荒涼とした廃屋であった。

今朝、孝一が秋田民報社に行くと、新一がいきなり腕をつかまえて、見せるものがある、といって引張って来たのがここであった。

「ここが佐藤義人の工場ということは分ったが、それがどうしたのかい？」

と孝一が新一に聞いた。新一はタバコに火をつけるのと、

「さあ、帰ろう」

と煙を吐いて歩き出した。帰りの車中で、彼はこう説明した。

「あの工場は三年前に佐藤が建てたのだが、事業不振で二年前から休業して、現在はああいう状態だ。佐藤はあれで五百万円くらいの損失をしている。それはいいが、問題はあのボロ工場の建っている土地だ。あそこは、南外バイパスの道路予定地になっている。それで市では立退（たちの）きを要望しているわけだが、それに対して佐藤は一千万円の補償を要求しているということだ」

「いー、一千万円?! 全く法外な数字じゃないか!」

「ああ、現在は休業しているが、再開することになっているといういい分だ。そんな訳はない、見る通りの廃業のボロ工場さ。だが佐藤は事業の将来からみて一千万円の補償額では安いと主張している」

「はあ! まるでヤクザだな。それで市では何とっている？」

「土木課の伊藤係長が起案をして、北山課長に出したそうだが、北山は判を捺（お）さないということだ」

「要求が高いということか？」

「いや、一円も出さないと言うのだ」

新一は煙を吐いた。

「それはまたなぜだい？」

「ここまでは、やっと土木課長から聞き出して分ったが、それから先はまだ調べていない」

「しかし、補償の要求額が高いというのは分るが、一円も出さないというのは、どういうことだろうか？」

と孝一は訝（いぶか）った。佐藤義人が北山課長をどなりつけたのは、そのことであつたか。が一円ももらえないのなら、佐藤が怒るのももつとも、ものように思えた。

「その訳を調べるために、これから君と行くんだ」

と新一はスマホにメモしていた住所と名前を見せた。

「登記所で調べてきた。これがボロ工場の地主だ」

と彼は説明した。孝一は新一の活動に少々彼を見直した。自分では嗅覚がないと言っていたが、なかなか隅に置けない。

訪ねた先の地主は酒屋のオヤジであつた。

「あの土地はオレのものだ。でも佐藤さんがオレに無断で、あの工場を建てだんだ。オレも最初は、やかましくかけ合つたけど、どだい、おがしいべ?!」

と酒屋はレジ台に座って説明した。

「んだ、でも佐藤さんが謝つたし、相当の地代を月々もらうごどにして、話がついだんだ」

「それじゃ、地主さんに無断で建てたくらいでは、あの工場の建築許可もとっていないかも知れませんな？」

と新一が聞いた。

「さあ、それだば知らね」

それはこのオヤジに聞くまでもないのだ。市役所の建築課で調べたら、案の定、無届建築であつた。

「やっぱり北山課長が補償金給付にハンコを捺さないはずだな。無届建築に補償金を出すことはないかな」

と新一が言う。

「しかし、あの工場が建つたのは三年前だろう。佐藤はここが道路になることは百も承知で建てたんだな」

と孝一は自分の推察を言った。

「つまり、彼ははじめから立退き補償金目的で建てたんだろう。佐藤は一千万円をとるのが目的だったんだ」

「恐らくそうだろうな。ところが案に相違して、北山課長が補償金をウンと言わない。北山は無届建築ということをちゃんと知っているのだ。当然、佐藤はこれを承知しない。佐藤にも弱味があるから、覚えていろという君が聞いたあの捨てぜりふになつたんだ。奴のことだから、伊藤という係長をつかつて何かやるかもしれないぞ」

孝一は北山課長が、私は信念で仕事をしていると声を詰らせて言つた言葉を思い出した。

「北山という課長はえらいな」

と孝一が言った。

「ああ、頼りない男だが、正直な奴だ。だが、この程度じゃ新聞のネタにならないな」

と新一が煙を吐きながらつぶやいた。

く次号へ続くく



とわ
永遠のPL学園

私は、皆様にお詫びをしないといけません。というのは以前、私が中学二年生だった時、平和中が全県少年野球大会で優勝した軌跡を物語にして書くと言いましたが、いまだに一行も書いていません。というか、完全に忘れていました、すみませんでした。でも、果たして書けるかな？ま、がんばってみます。あれって、今から41年前のことなんですね。当時大曲仙北を3区に分けて県大会の予選を行い、平和、協和、刈和野、土川、強首、大沢郷、南外の第3区から県大会を目指していました。私が一年生の時、平和は準決勝で協和に負けてしまいました。この年の全県大会は二年生エース水沢をようする生保内が優勝しました。ですので、打倒生保内、水沢投手を打って全県を制する、が新チームの目標でした。そして、次の年の県予選の決勝は、平和vs協和でした。この年は、50回の記念大会でしたので、各地区から2校出場できて、負けても県大会に行けたのですが、協和に負けるわけにはいきません。

初回到満塁ホームランが飛び出すなど打線が爆発した平和が優勝し、県大会へ挑みました。苦しい試合の連続でしたが、準優勝まで勝ち進みました。準決勝のカードは、平和vs城東、協和vs生保内。全県制覇まで、あと二勝、もう一つ勝つと、目標の生保内戦です。平和はランニングホームランの一点を守り切って城東を下し、生保内戦に向けて気合いを入れていた時、生保内が協和に負けた、というニュースが飛び込んできたんですね。県大会の決勝も、平和と協和の大曲仙北第三区対決、全く、マンガです。そして、県大会でも打線が爆発した平和が優勝しました。私が三年生の時も、県予選の決勝は、平和vs協和。ライバル対決を制して県大会に出場したのですが、何の因果かわかりませんが、初戦の相手は城東でした。実際に対戦してみて、相手選手の気合いの入りがハンパじゃなく、マンモス校の応援も、ものすごく、完全に圧倒されて、0-2で負けてしまいました。こうして、私の中学の野球生活が終了しました。その頃、高校野球では、PL学園が甲子園を圧巻していました。桑田、清原のKKコンビが、私が中3の時、高3でしたので、私の中学時代の高校野球は、PL一色でした。今は忘れてしまいましたが、当時はPLの校歌を全部歌えました。現在、PL学園野球部は存在してません、あの、天下のPLが無くなってしまいました。詳しくは、この本を読んで下さい。盛大な応援、人文字、そして、ソツがないPL野球を、もう二度と見る事が出来ません、残念です、。。。。。

今月の映画



メジャーリーグ

またまた、野球の話で大変恐縮なのですが、この映画のモデルとなったチームが、クリーブランド・インディアンズ。でも、最近、人種差別的な名前ということで、ガーディアンズ、と改名されました。

「守護者」という意味だそうです。この映画の影響もあるのですが、私は、インディアンズの方が好きです。

前のコーナーの続きになるのですが、それじゃ、40年前に戻りたいか？と問われたら、私は、絶対に、戻りたくない、と答えます。果たして私は中学時代、何回殴られたでしょうか？自他ともに認める問題児の私でした。ほぼ毎日、殴られていました。特に一年生の時はひどかったです。PL学園同様、平和中野球部にも暴力がはびこっていました。いつも三年生に殴られていました。その三年生達が県予選で協和に負けた時の喜びようは、それはハンパなかったです。あれはまさに、解放の喜びでした。先生からも、たくさん殴られました。一人、いつも私を殴る先生がいました。ほとんど理不尽な暴力でしたので、我慢が出来なくなってしまった私は、ついに、とうとう、その先生を殴り返してやりました。まさか、自分が学校の先生を殴るなんて思ってもみませんでした。それを機に、その先生は、もう二度と私を殴らなくなりました。当然、学校は嫌いでしたし、一瞬たりとも野球が楽しいと思ったことはありませんでした。だから、その時に戻りたくないのです。

話は急に変わりますが、バレーボール元日本代表の益子直美さんって知っていますか？現役時代は美女アスリートと呼ばれた益子さん（私は斉藤真由美さんの方が好きでした。斉藤真由美さんを知っている方は、完全な昭和人間ですぞ、え、へへへ）は、監督が怒ってはいけない、というルールを提案して、「益子直美カップ」というバレーボール大会を開催しています。もちろん相手に失礼な態度をとった場合や、危険が及ぶような行動をした時は怒ることも必要です。怒ること、を一概に否定しているわけではありません。その上で、従来の指導者の中には、子どもたちに一から百まで、全部教えないといけない、という考え方が根強く残っているように感じます。でも決してそんなことはないんです。信頼することで、子どもたちは自然とチャレンジするようになります、と、益子さんは申しています。私達が先生から信頼されているなんて、まず、ありえませんでした。常に完全な上下関係があって、そして、いつの間にか、人に従うことしかできない人間になってしまう、そんな教育は、絶対に間違っています。私達の時は、間違っていました。でも、今の子供たちには、正しいことを教えないといけません。子供たちの考える力を、大人が一番大切にやって、子供たちに学校を好きになってもらうように、楽しくスポーツをしてもらうようにしてやるのが、今の私達のやるべきことだと思います。

黄門切礼治のWaffle's bookmaker(ワッフル版ブックメーカー)

(黄門) え～、皆様ようこそ当クラブへ。私は当クラブのマスター兼オッズメーカーでございます、黄門切礼治です、今月もよろしく。それでは早速、先月のベディングの結果と配当を発表します。先月は、秋田朝日放送で月曜から金曜まで放送されている「ダイゴも台所」の3月1日から3月20日までの放送分で、辻調理師専門学校 簾(みす)先生のダジャレは何回飛び出たか、を賭けの対象にしました。そして、その結果は、、、3回、が正解でした！残念ながら～、今月も～、正解者なしよ！目指せ、2年連続の世界一！という訳で～、今月は～、今年も大注目、ドジャースのネタ3連発でいきまっせ！まずは～、0回、にベットしていた今野康行007は残念、1イースナーカット、一番驚いたのは、ロバーツ監督って52歳で、私よりも年下だったんですね～、ずっと年上だと思っていた、今年も大谷選手とたくさんドッキリ合戦してください、まさに～、奇想天外の～、必殺、黄門カッター!!カッター(エコー)、007、とうとう、イースナーが無くなってしまいました!!どうする、007!?そして～、同じく、0回、にベットしてしていたぐだ男ママも残念、1,000イースナーカット、ロサンゼルス、そして故郷の大船渡も大規模な火災に見舞われました、今年は絶対にやるしかない、絶対にマウンド上で炎上してはいけない！佐々木朗希投手のスプリットのような～、ものすごい落差の～、必殺、黄門カッター!!カッター(エコー)、合計11,000イースナーとなりました。そしてそして～、5回以上、にベットしていた高行君も残念、1,000イースナーカット、山本由伸投手のユニークな練習法が、やり投げトレーニング、やり投げといったら、寝そべてモグモグの北口榛花(はるか)選手、カステラを食べてからの～、必殺、黄門カッター!!カッター(エコー)、合計2,000イースナーとなりました。

バン、バン、バン！←黄門切礼治が開始のハンマーを激しく叩く

(黄門) え～、それでは、今月のギャンブルに移る前に、皆様方に御報告があります。イースナーが無くなってしまった007の件ですが、またまた例によって、007の愛車ソリオを担保にしてイースナーバンクより100イースナーを借りて新たにスタートするはずだったのですが、本人の要望で、しばらく頭を冷やしたく休養をいただきたい、ということでしたので、しばらくの間、代打的ベッターにベディングをしてもらうことになりました。それでは、007の代打的ベッターを紹介します。よみがえるがいい、代打的ベッター！（料理の鉄人風に）

(ぐだ男) ど～も、代打的ベッターのぐだ男です。私、現在、失業中でありまして、母親より、ここでバイトでもしなさいと言われ、やってきました。よろしくお願ひしませす。

(ママ) しっかりやりなさいよ！いきなり100イースナー、ベットするんだよ、いい!?

(黄門) え～、それでは今月のギャンブルに移りましょう。こうなったら今月は、ドジャースで押しましょう！ドジャースといたら、当然、大谷選手です。そこで今月は、大谷選手は4月20日までに何本のホームランを打つか、を賭けの対象にします。ちなみに4月は、2021年は8本、2022年は4本、2023年は7本、2024年も7本のホームランを打っています。4月20日までですので、若干数字が少なくなると予想し、私は、このようなオッズをつけました。

0本	300 : 1	4本	4 : 1
1本	75 : 1	5本	2 : 1
2本	20 : 1	6本	3 : 1
3本	8 : 1	7本以上	5 : 1

それでは、お三人にベットしてもらいます、ベディング!!

～一分間のシンキングタイム～

(黄門) え～、それでは、ミスターぐだ男代打的ベッター、お願いします。

(ぐだ男) 実は私、大谷選手と同年なんですね～。でも、かたや向こうは世界のスーパースター、こっちはプータローなんです、、、、。たくさん打ってもらいましょう、7本以上、に、さすがに100は無理です、10イースナーをベットします。

(黄門) え～、それでは、ミスぐだ男ママ、お願いします。

(ママ) 去年、スライディングをして骨折をしてしまったので、盗塁は少なくなると言うね。でも、その分バッティングに集中できるからホームランも増えるでしょう、7本以上、に1,000イースナーをベットしま～す。

(黄門) え～、それでは、ミスター高行君、お願いします。

(高行) ベッツ選手とフリーマン選手の調子が良くないみたいなので、大谷選手と勝負しない場面が増えるのではないかと思いますので、3本、に100イースナーをベットします。

(黄門) え～、それでは、ぐだ男代打的ベッターが当たりますと50イースナー、ぐだ男ママが当たりますと5,000イースナー、高行君が当たりますと800イースナーが加算されます。それでは皆様、大谷選手のホームランに注目して下さいませ。

バン、バン、バン！←黄門切礼治が閉会のハンマーを激しく叩く

～次号へ続く～